

旭川大学短期大学部紀要投稿要領

- 1 原稿は原則として、A 4 版 400 字詰横書原稿用紙または上質紙にワードプロセッサを用いて横書きに書かれたものとする。ワードプロセッサを用いる際、原則的に和文の場合には、2 段組 21 字× 41 行、欧文の場合には 42 字、41 行で書く。
- 2 論文等は原則として次の項目からなっているものとする。
表紙に表題、表題（英語）、著作名、著作名（英語）を書く。以下、**Abstract**、要約、緒言、方法、結果、考察、文献等、和文抄録の順序で構成するが、必要に応じこれらを除いて書くこともできる。謝辞等の記述は考察のあとに記載する。要約については、英語で書くことが望ましい。
- 3 論文等を提出する際、論文一部とコピー一部、計二部と共に、投稿申込書を添えて提出する。その際、論文をテキスト形式で保存した CD・R 又はスティックメモリーを提出する。CD・R には、論文表題、筆頭著者名、使用オペレーションシステム、使用ソフト名およびそのバージョンを明記する。
- 4 単位は国際単位を用いる。
- 5 太字体にするものは波線~~~~~を、イタリック体にするものはアンダーライン_____を付ける。
- 6 引用文献および参考文献は脚註を用いるか、尾註に一括して記載する。
- 7 図、表および写真（以下、図表等という）は図 1、図 2 等のように、表は表 1、表 2 等のように通し番号を付ける。
- 8 図表等の挿入箇所は、本文中右空欄に矢印等を用い、図表等の番号を記入し明示する。
- 9 図表等は鮮明なもので、最終縮小倍率を考慮して大きさや太さを選ぶ。各図表類は図表ごとに別紙にまとめ、すべての裏面に番号と筆頭著者名を書き、必要があれば図の上下、拡大または縮小倍率も明記する。
- 10 特殊な図表や作品等を掲載する場合、筆頭著者に別途料金を請求することもある。
- 11 著作権が生じた場合、筆頭著者が全責任を負い、本委員会は一切関知しないので、論文等を書く際には著作権に十分留意する。

12 文献の書き方

原則的に、和文については以下の例を参考にし、欧文については MLA(Modern Language Association of America) 最新版に基づいて書く。

(雑誌) 著者名、表題、雑誌名、巻、ページ、発行年

(単行本) 著者名、表題、書名、編集者名、発行社、発行地、発行年、ページ

(和文例) 1) 村上和保:家庭用洗浄器の濾過能力に関する調査、日本家政学会誌、48、815-818 (1997)
2) 平成9年版、厚生白書「健康」と「生活の質」の向上をめざして、厚生省編、(株)ぎょうせい、東京 (1997)

(欧文例; MLA style)

- 3) McCay. C. M, Maynard. L. A, Sperling G. and Varnes. L. L, (または McCay. C. M. *et al.*)
"Retarded Growth, life Span, Ultimate Body Size and Age Changes in the Albino Rat After Feeding Diets Restricted in Calorise, " *J. Nutr.* 18(1939):1 - 3.
- 4) Dublin. L. I, "Longevity in Respect and in Prospect," *Problems of Aging*, Ed. Cowdry E. V. (Baltimore: The Williams and Winkins, 1946), 100 - 119.
- 5) Bogomolets. A. A, *The Prolongation of Life* (New York: Duel, Sloan and Pearce, 1946)

附 則

1. この要領は、平成24年3月2日より施行する。
2. 3月1日以前に提出されたものについては、従前の例による。
3. 「短期大学部への投稿要領について」は廃止する。

附 則

この規定は、平成10年10月15日より施行する。

附 則

この規定は、平成18年6月15日より施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規定は、平成20年12月18日一部改定し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この規定は、平成24年3月30日一部改定し、平成24年4月1日から適用する。